



大宮小だより

R4年10月13日 No.8

発行 阪井宏行

～自ら学び、心豊かで、しなやかに生きる子どもの育成～

充実した運動会でした！ ～秋晴れのもと開催～

良い天气に恵まれ、10月1日(土)に予定通り大宮小運動会が開催されました。朝早くからの準備や運動会終了後の後片付けには、保護者の方に大変助けていただきました。本当にありがとうございました。

さて、今年の運動会を振り返ってみると、子ども達はもちろん、先生方も一生懸命の運動会でした。約1か月の取組でしたが、それぞれが目標を持ち、みんなで創り上げた素晴らしい運動会であったと思います。

特に私は、低学年のダンスや高学年のソーランの取組を毎年とても楽しみにしています。運動会は体育的な活動であると思いがちですが、取組の過程をよく見ていると文化的な活動の要素が大きいのです。なぜなら、それぞれの種目の目的が、運動能力を競う要素より、仲間と試行錯誤しながら高め合う要素が強いからです。

練習を始めた頃は、集団にまだまとまりがなくダラダラしたりバラバラだったり、自信がなくて動きが小さかったり声小さかったり。そんな集団が、運動会当日には「どうだ、見てみろ！」と言った表情で踊ったり声を出したり。見ているこちらは、その迫力に圧倒されます。

仲間とともに自信に満ち溢れた姿に変わっています。それは子どもだけでなく、先生達も変わってきます。先生の熱意に子どもが応え、子どもの姿に先生も刺激され、お互いが響き合うように高みを目指していきます。その過程がとても魅力的なのです。運動会の挨拶でも述べましたが、今の大宮小学校にはそんな雰囲気があります。次は文化祭です！



後期児童会役員選挙 ～立ち合い演説会より～

10月12日(水)に、後期児童会役員選挙が行われました。全校児童がにじの広場に集まり、立候補者と推薦責任者の演説を聞きます。その後、3年生以上が投票を行います。どの立候補者も自分の考えを分かり易くまとめ、はっきりした声で全校児童に伝えていました。

会長に立候補した6年生の草深さんの演説を紹介します。
まず草深さんは、『私が会長になったら達成したいことが2つあります。』と述べました。分かり易い切り出し方です。聞いている方は、その2つは何だろう？と考え、話に集中します。その後、順を追って2つの目標を端的に述べました。一つ目は、『友達のいいところを見つけてあげられる学校にすること』、二つ目は『会長として学校を引っ張っていくこと』。思わず「うんうん」とうなづいてしまうような目標でした。そして、それぞれの目標を伝えた後には、その理由とともに、そのためにどんな活動をするのか、具体的な方策が付け加えられていました。単に目標を言うだけでなく、理由や具体策を付け加えたことで説得力が増しました。演説の最後に『責任を持って会長をやり切る』と結び、自分のやる気を印象付けました。とても分かり易く説得力のある力強い演説でした。

さらに、その目標自体も素晴らしいと思いました。『友達の良いところを見つけてあげられる学校』皆さんどうですか？最近の社会を見ていると、人の失敗や足りないところを批判したり攻撃したりすることが多いと思いませんか。みんながお互いの良いところをどんどん見つけていける学校っていいですね。そんな学校を目指して欲しいです。

他の立候補者の演説も素晴らしく、結果は全員当選でした。後期児童会の活動に期待しています。本部役員みんなで力を合わせてがんばれ！

